



特定非営利活動法人 Arts Planet Plan from IGA

# アトリエニュース

〒518-0205 三重県伊賀市伊勢路字青山1381-77 Tel (186-)0595-53-1077



[2008/9/20 発行 編集担当:石津 勝]

暑かった夏が過ぎ去り、秋風が心地よい季節となりました。  
この夏の間に行なった講習会をはじめとした各活動の報告、これからの活動予定などをお届けします。アトリエは一年で一番過ごし易い季節を迎えています。行楽がてらに訪れてみてはどうでしょうか？ 泊まれる「庵」の姿はまだありませんが…！

## 上野散策と「組紐」体験の報告 & 実技講習会・今後の予定です



俳聖殿

8月も終盤、小雨がぱらつく天候でしたが、厳しい暑さもなく散策にはちょうどよい日和となりました。午前の参加者は地元詳しい方を含めて6人でしたので、いろいろなお話を聞きながら、歴史民俗資料館、上野城、俳聖殿などを一緒に見学しました。



高台による組紐制作

昼食に伊賀名物の「田楽」をよばれた後は、廣澤徳三郎さんのお店で、高台と呼ばれる台を使って組紐制作される様子を見学させていただき、さらに近くの旧崇廣堂に立ち寄りしました。もと藩校だった建物は、図書館という役割を経て、現在は施設見学の他、勉強会や音楽会・展示等にも貸し出されていました。

その後、組匠の里 伊賀組紐センターに移動。組紐体験のみ希望されていた5名の方々と合流し、施設の指導員の方のご指導のもと、2種類の組紐体験に取り組みました。初めての体験に皆さん真剣そのものでしたが、次第にお話ししながら手を動かすことができるように…！間違えた箇所は自分のオリジナル?!になり、それぞれストラップやブレスレットに仕上げました。

参加者のみなさま、ありがとうございました。



組紐体験の様子

### 実技講習会 今後の予定

2回目以降の予定が決まりました！当初の日程より変更がありましたので、ご確認よろしくお願ひします。詳細については、また各時期の前にご案内します。楽しみにお待ちください。

- 第2回 草木染め 11月15日(土)「風と土のかたち」展会場にて 講師 松永ゆう子氏
- 第3回 ガラスの鋳造(パートド・ヴェール) 12月 西青山アトリエにて 講師 井川彩子氏
- 第4回 陶芸(型による磁器制作とアトリエ訪問) 2月余部氏アトリエにて 講師 余部一郎氏

(実技講習会担当: 田井 佳子)

## 「風と土のかたち」展への参加者大募集！

昨年は、レジデンス開催時に併せた「風の土のかたち」展として、多くの会員の出品などもあり、ひとつの理想的な展覧会を行なうことができました。

今年は、これから毎年持続していける展覧会のかたちを模索していくために、中山間部の旧小学校を舞台とした新たな試みを立ち上げました。会員の創作活動の紹介と会員相互の交流を第一義の目的とし、併せて矢持地区での木工旋盤や陶芸の講座などをはじめとした地域住民の方の作品展示も行ないます。加えて、過去のレジデンス参加作家や実技講習会の講師、学生ボランティアや行事参加者など、伊賀にゆかりのある方々や地元作家の方々、芸術文化に興味・関心を持っている人々にも出品要請を行ない、作品を通じた交流の場としたいと思います。

11/9(日) 作品搬入後に気軽なオープニングパーティ兼ギャラリートーク、  
11/15(土)に草木染め実技講習会を、11/16(日)には造形体験ワークショップも開催予定です。'08「風と土のかたち」展に奮ってご参加ください。

(「風と土のかたち」展担当: 石津 勝)



矢持地区市民センター(旧矢持小学校)

## 今年度も研修旅行を計画しています

研修旅行についてのアンケートにご協力いただき、ありがとうございました。行先はご希望の多かった「福井県・金津方面」に決定しました。金津では、創作の森にて、吹きガラス体験やアトリエ見学を予定。あと芦原温泉での宿泊に加えて、少し足をのばし、石川県の九谷焼美術館などの見学も検討中です。日時等、詳細については、今後の会議で決めていく予定です。

(研修旅行担当: 藤田 邦子)

## InSEAでの研究発表報告です



6日の発表風景



8日のワークショップ風景

2008年8月5日(火)～9日(土)の間、大阪国際交流センターで開催された「the32nd InSEA World Congress in Osaka, Japan」(第32回国際美術教育学会世界大会 in大阪)で、6日に「芸術系特定非営利活動法人(NPO法人)における地域の芸術文化活動との協働実践報告」のテーマのもと、本法人の実践を森田代表理事と石津副代表理事で研究発表しました。本法人の活動と地域の芸術文化活動組織との協働に視点を当て、研究報告と活動の検証及び今後の課題と方策を探ることを目的に発表しました。また、同じ発表者によるワークショップ形式の発表も8日に「教科教育法関連科目のうち工芸領域に関する指導事例及び演習例」のテーマで行ないました。教員養成科目の実践事例として、地域資源、環境保護、手道具などをKey Wordに「竹の箸」をつくるワークショップを行い、海外からの参加者も含め、予定時間を終えた後も続々と参加があり、盛況のうちに此方も無事終了できました。両日の発表ため、事前準備や当日も含め、多数の会員の皆様のご協力とご参加により、無事、発表を終えることができました。連日の猛暑の中、本当に有難うございました。

なお、InSEAはオリンピックのように、3年に一度、世界を巡り開催されている美術教育の国際学会です。日本で開催されるのは40年ぶりで、前回は東京でした。北京オリンピックはテレビなどでも連日深夜まで報道され、知らない人はいないとは思いますが、InSEAは発表件数が500件を超える大規模な大会になったにも拘らず、地元、関西の芸術系大学や高校・中学校・小学校の美術・図工教員、学生でさえも日本での開催を知らない人も多数いる程、認知度の低さや広報の不足を実感しました。また、実際に大会に参加することによって、浮き彫りになった美術教育の多数の課題も再認識できました。

## 「粘土のカフェ」の活動報告です

穴窯焼成の年間を通した活動の内、3月末に行なう「窯詰め・窯焚き」の事業が、三重県文化振興基金活用事業の対象となり、補助金の交付が決定しました。また、名張市にありますFMラジオに出演して、穴窯焼成参加者の募集をさせていただきましたところ、お聞きになった方の入会がありました。

薪割りは4月から15回行ない、雨の日も炎天下の日もありましたが、学生ボランティアさん達のご活躍と、新しい参加者も3名あり、皆様のご協力のおかげで、予定の三分の二程度の薪が準備できました。作陶会と平行して、今後も薪割りを実施します。ご参加ご協力、よろしくお願ひします。

(陶芸自主活動グループ「粘土カフェ」担当：田上 早百合)



## 「庵プロジェクト」の活動報告です

特に大きな進展がないという現状ですが、廃材等の資材入手の声を掛けながら、取り敢えずアトリエ内にある廃材等を使い、試しにツリーハウスをつくってみようかなと思っています。興味のある方はご連絡を！

(庵プロジェクト担当：石津 勝)

## 悲しいお知らせです

去る、8月22日、本法人会員の金中秀子さんがご逝去されました。突然の訃報で驚かれた方も多しと存じます。2003年の「Artist in Residence at IGA 2003」の彫刻教室にご参加以降、陶芸をされていることをきっかけに故原田春子さんとともに本法人に加入され、事務局メンバーとしても2004年度からご協力頂きました。23日の御通夜、24日の告別式に際しましては、突然の訃報にも関わらず、多数の方にご参列頂き有難うございました。事務局メンバー、一般会員、学生ボランティア、穴窯関係など法人関係者だけでも30名近くの方が参列してくださり、故人、ご遺族とも喜んでくださっているものと推察しております。お通夜には大阪の教員採用試験を終えて、美術の実技の道具なども持ったまま、駆けつけてくださった学生ボランティアさんもあり、故人の遺徳の大きさを今更ながら懐旧しております。急なことで、当日、仕事等でご参列願えなかった皆様も、それぞれの場所から故人をお慰み頂いたことと存じております。アトリエの畑のお世話、周辺の草花の管理、レジデンスの調理、穴窯づくりの提案、毎回参加頂いた研修旅行などなど、思い起こすことは数々あり、遺して下さった「もの」と「こころ」を皆様とともに大切にしていかなければと、心新たにしているところです。

ご冥福を衷心よりお祈り致します。 合掌。

## 会費納入のお願い & 皆さまのご意見お待ちしております

- 恐縮ではございますが、継続会員の方の中でまだ入金されていない方は、年会費の入金をお願いします。  
郵便口座：00890-1-106346 NPOアーツ プラネット プラン フローム イガ
- 法人のホームページです。ご覧ください。「展覧会情報」のページもあります。会員の皆様の個展・グループ展などの情報を載せますので、事務局まで是非お知らせください。  
ホームページアドレス：<http://www.appfi.org> 事務局Eメール：[contact@appfi.org](mailto:contact@appfi.org)